

広報 しばた

2015. 10
since 1961 No.648

9月17日の葉坂地区です。ヒガンバナが咲き、稲刈りも行われましたが、9月10日から翌日にかけて東日本を襲った大雨は、町内の住宅や農作物に大きな被害をもたらしました。

平成26年度 決算報告

平成26年度の一般会計、特別会計、水道事業会計の決算がまとまり、平成27年度町議会9月会議で認定されました。

皆さんが納める税金や国・県からの支出金などがどのように町の財政運営に使われているのか、決算の概要についてお知らせします。

平成26年度の一般会計、特別会計および水道事業会計を合わせた決算額は、歳入が236億2,229万円で、前年度と比べ2,954万円(0.1%)の減となり、歳出は231億9,841万円で、前年度と比べ3億5,337万円(1.5%)の増となりました。

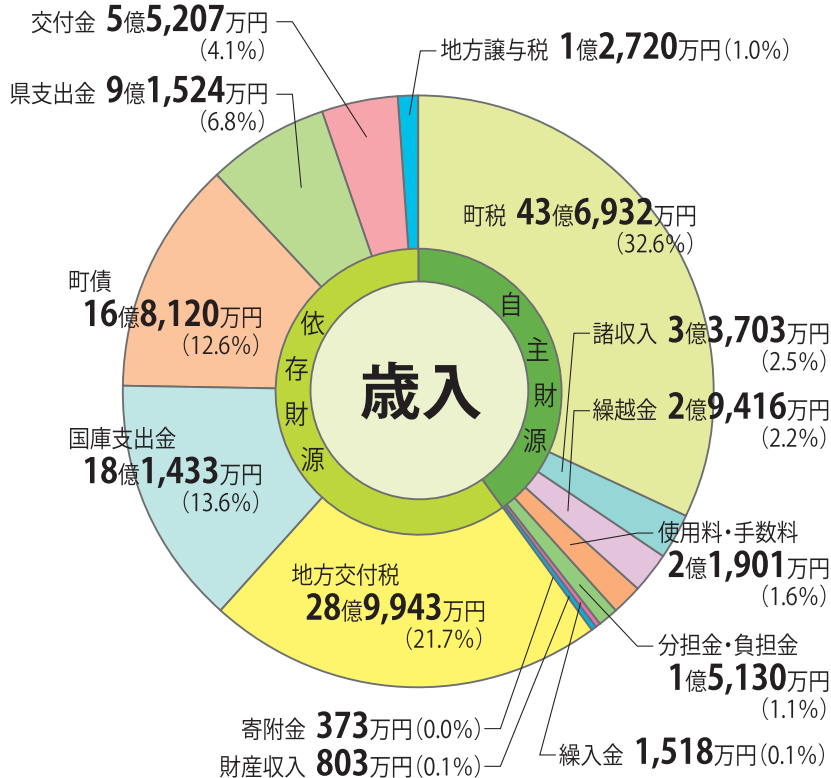
一般会計でみると、歳入の決算額が133億8,723万円で、歳出の決算額が132億2,595万円となり、翌年度に繰り越すべき財源5,850万円を除いた実質収支額は、1億278万円の黒字となりました。

※千円以下は端数調整しています。

問合せ先/財政課 TEL55-2278

一般会計

歳入 総額 133億8,723万円



町税は、皆さんが納めた個人町民税や固定資産税などが増加したため、前年度から4,664万円増え、43億6,932万円と歳入全体の32.6%を占めています。

国からの交付金5億5,207万円は前年度と比べ5,741万円増えました。これは平成26年4月からの消費税率の引き上げにより、地方消費税交付金が4億3,577万円となったためです。

町債は、しばた千桜橋建設工事や三名生児童館新築工事、槻木小学校プール改築工事などで、前年度と比べ4億520万円増え、16億8,120万円となりました。

用語の解説

【一般会計】

総務費や教育費、民生費など行政(まち)を運営するための基本となるものです。

【特別会計・水道事業会計】

一般会計と別に独立した会計で、特定の事業を特定のお金で行うために一般会計とは別に管理をします。

【歳入】

町税：皆さんに納めていただく税金で、町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税などがあります。

繰入金：町の一般会計以外の会計(基金など)から移すお金です。基金を取り崩して一般会計に入れる場合があります、基金繰り入れという扱いになります。

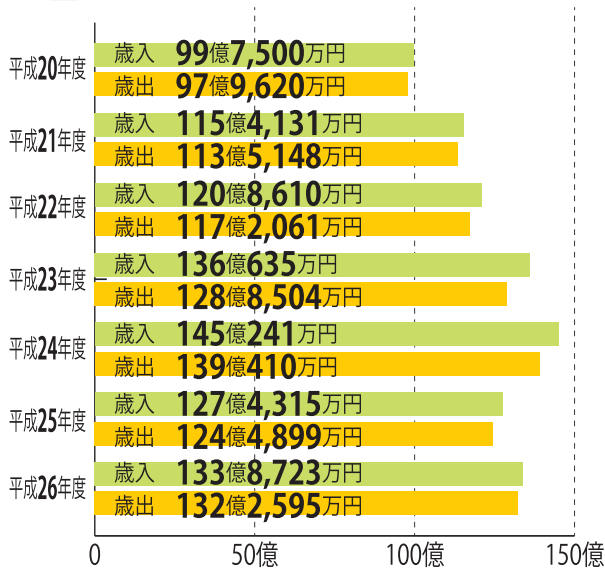
地方交付税：市町村の財政力に応じて国から交付されるお金です。

町債：大きな事業を行うために国や金融機関などから長期借入れをしたお金です。

国庫支出金および県支出金

市町村が行う特定の目的に対して、国および県から交付されるお金です。

一般会計の推移



平成26年度決算の内訳

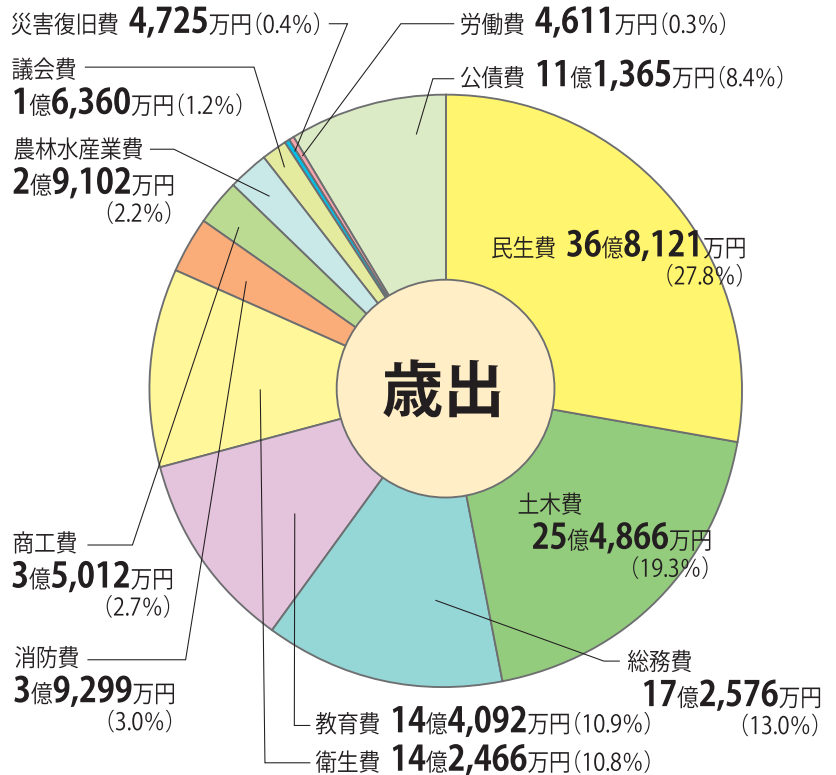
内 訳	歳 入	歳 出	差し引き額
決算総額	236億2,229万円	231億9,841万円	4億2,388万円
一般会計	133億8,723万円	132億2,595万円	1億6,128万円
特別会計	88億1,901万円	84億7,489万円	3億4,412万円
国民健康保険事業特別会計	44億2,981万円	42億6,000万円	1億6,981万円
公共下水道事業特別会計	14億9,542万円	13億7,282万円	1億2,260万円
介護保険特別会計	24億8,880万円	24億3,921万円	4,959万円
後期高齢者医療特別会計	3億5,468万円	3億5,256万円	212万円
土地取得特別会計	5,030万円	5,030万円	0万円
水道事業			
収益的収入支出	13億 485万円	11億8,502万円	1億1,983万円
資本的収入支出	1億1,120万円	3億1,255万円	-2億 135万円

歳出では、安全・安心な教育環境の整備を図るため、船迫および西住小学校体育館照明器具改修工事を行いました。このほか、しばた千桜橋建設工事、町道槻木169号線などの補修工事に取り組みました。また、児童の育成環境整備として三名生児童館を新築しました。新たな取り組みとして、しばた健康づくりポイント事業を創設し、健康福祉の充実を図りました。

歳出の内容を目的別に見ると、障がいのある方や高齢者への福祉、子育て支援などの民生費が36億8,121万円で歳出全体の27.8%を占めています。次に、道路や河川、公園の整備や維持管理などに使われる土木費が25億4,866万円で全体の19.3%を占めています。

総額 132億2,595万円

一般会計 歳出



【歳出】
民生費：障がいのある方や高齢者への福祉、子育て支援の経費です。
総務費：行政全般の事務経費です。
土木費：道路や公園整備、施設建設の経費です。
教育費：学校教育や生涯学習、スポーツ振興などの経費です。
衛生費：環境の保全や疾病予防のための経費です。
消防費：消防・救急業務、災害対策のための経費です。
災害復旧費：災害により被災した施設を復旧するための経費です。
商工費：商工業や観光の振興のための経費です。
農林水産業費：農林業の振興や生産基盤整備のための経費です。
議会費：議会運営のための経費です。
労働費：労働者の生活安定や福利増進事業のための経費です。
公債費：町債を返済するための経費です。

地方譲与税：国税の自動車重量税や地方道路税などの全額を一定の基準（道路の長さや面積など）により分配されるものです。

平成26年度の主要事業の成果と決算額

教 育環境整備事業



◆事業費	2億740万円	● 槻木小学校プール
◆財 源	町 : 3,160万円	
	国・県補助 : 5,002万円	
	その他(町債など) : 1億2,578万円	
◆主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 槻木小学校プール改築工事 ・ 船迫小学校体育館照明器具改修工事 ・ 西住小学校体育館照明器具改修工事 ・ 船迫中学校防球ネット設置工事 	

市 街地整備関連事業



◆事業費	6億6,114万円	● しばた千桜橋
◆財 源	町 : 1,752万円	
	国・県補助 : 2億9,403万円	
	その他(町債など) : 3億4,959万円	
◆主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ しばた千桜橋建設工事 ・ 町道館山4号線歩道整備工事 ・ 船岡新栄6号公園整備工事 	

子 育て支援関連事業



◆事業費	4億6,443万円	● 三名生児童館
◆財 源	町 : 1億1,705万円	
	国・県補助 : 2億3,131万円	
	その他(町債など) : 1億1,607万円	
◆主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三名生児童館新築工事 ・ 船迫こどもセンター新築工事 ・ 槻木保育所ゆとり保育室増築工事 ・ 子ども医療費助成 	

防 災対策関連事業



◆事業費	2億9,424万円	● 太陽光パネル 保健センター屋上
◆財 源	町 : 3,685万円	
	国・県補助 : 1億5,824万円	
	その他(町債など) : 9,915万円	
◆主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 太陽光発電設備工事 ・ 小型消防ポンプ購入 ・ 鷺沼排水区雨水整備工事 ・ 槻木、船岡地区雨水対策工事 	

道 路改良事業



◆事業費	6億3,198万円	● 町道槻木169号線
◆財 源	町 : 1億2,441万円	
	国・県補助 : 1億9,833万円	
	その他(町債など) : 3億924万円	
◆主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町道富沢16号線道路改良工事(継続中) ・ 町道船岡東36号線狭あい道路改良工事 ・ 町道槻木169号線外道路補修工事 ・ 町道上名生9号線道路補修工事 	

健 康・福祉関連事業



◆事業費	9,258万円	● しばた健康づくり ポイント事業
◆財 源	町 : 8,555万円	
	国・県補助 : 273万円	
	その他(諸収入など) : 430万円	
◆主な事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ しばた健康づくりポイント事業 ・ 特定健診・青年期健康診査事業 ・ デマンド型乗合タクシー 	

農業振興関連事業



事業費	6,409万円
財源	
町	: 3,753万円
国・県補助	: 2,627万円
その他(諸収入など)	: 29万円

主な事業
 ・被災農業者向け経営体育成支援事業補助
 ・集落営農水田担い手対策事業補助
 ・放射性物質吸収抑制対策事業補助

集落営農水田担い手対策事業補助

観光関連事業



事業費	7,290万円
財源	
町	: 802万円
国・県補助	: 6,488万円

主な事業
 ・里山ガーデンハウス新築工事
 ・みやぎ大菊花展柴田大会事業費補助
 ・観光戦略・開発・宣伝事業

里山ガーデンハウス

歳入

(入ったお金)

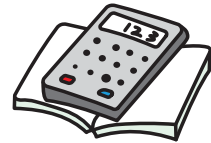
総額 **349,317円**

町税 **114,010円**



町債(資金の借入)

43,868円



平成26年度 町民一人あたりで見た決算額

(平成27年3月31日現在の人口38,324人)

民生費 **96,055円**



土木費 **66,503円**



総務費 **45,031円**



歳出

(使ったお金)

総額 **345,109円**

教育費 **37,598円**



衛生費 **37,174円**



消防費 **10,254円**



商工費 **9,136円**



農林水産業費 **7,594円**



議会費 **4,269円**



災害復旧費 **1,233円**



労働費 **1,203円**



公債費 **29,059円**



平成26年度決算に基づく健全化判断比率などの状況

健全化判断比率

実質赤字比率…該当なし

- 早期健全化基準 13.83%
- 財政再生基準 20.00%

福祉、教育、町づくりなどを行う一般会計などの赤字の程度を指標化し、財政運営の健全化の度合いを示す指標です。

連結実質赤字比率…該当なし

- 早期健全化基準 18.83%
- 財政再生基準 30.00%

特別会計や企業会計を含むすべての会計の赤字や黒字を合わせて、町全体としての赤字の程度を指標化し、全会計の財政運営の悪化の深刻度を示す指標です。

実質公債費比率…7.5%

- 早期健全化基準 25.0%
- 財政再生基準 35.0%

町の借入金にかかる元金および利息の支払額が標準財政規模に対して、どのくらいの比率なのかを見るもので、町の資金繰りの程度を示す指標です。

将来負担比率…62.0%

- 早期健全化基準 350.0%

町の借入金や将来支払わなければならない負担金などの残高を指標化し、将来、財政を圧迫する可能性の度合いを示す指標です。

資金不足比率

公共下水道事業…該当なし

水道事業…該当なし

- 経営健全化基準 20.0%

公共下水道事業、水道事業の資金不足を、料金収入の規模と比較して指標化し、経営状況の深刻度を示す指標です。

町では、いずれの指標も国が定める財政の早期健全化や再生の基準を大幅に下回っており、収支バランスの取れた、健全な財政運営が行われています。

※「早期健全化基準」とは…例えるとイエローカードに当たります。4つの指標のうち、一つでもこの基準以上になった場合は「早期健全化団体」となり、健全化計画を策定して自主的に財政の健全化に取り組むこととなります。

※「財政再生基準」とは…例えるとレッドカードに当たります。将来負担比率を除く3つの指標のうち、一つでも基準以上になった場合は「財政再生団体」となり、財政再生計画を策定して、国の監督する下で財政再建に取り組むこととなります。

※「経営健全化基準」とは…例えるとイエローカードに当たります。この基準値以上になった場合は、「経営健全化団体」となり、経営健全化計画を策定して自主的に財政の健全化に取り組むこととなります。

基金(町の貯金)の状況

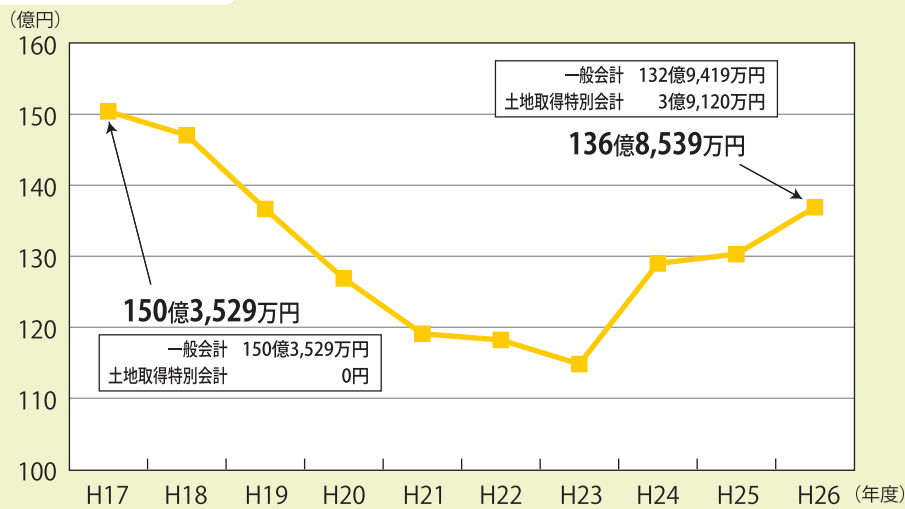
内 訳	年度末残高
合 計	23億1,791万円
財政調整基金	14億1,071万円
町債等管理基金	2億 7万円
スポーツ振興基金	1億1,469万円
図書館建設基金	1億 59万円
学校給食センター建設等整備基金	3,000万円
学校教育施設整備基金	1,565万円
21世紀の田園文化創造基金	527万円
科学学習振興基金	504万円
さくら基金	409万円
防災基金	84万円
ふるさと柴田応援基金	55万円
特色のある教育活動支援基金	50万円
国民健康保険事業財政調整基金	3億2,592万円
国民健康保険健康づくり基金	590万円
高額療養費貸付基金	500万円
国民健康保険出産資金貸付基金	240万円
介護給付費準備基金	9,069万円

町債(町の借金)の状況

内 訳	年度末残高
合 計	243億8,598万円
一般会計	132億9,419万円
臨時財政対策債	58億8,432万円
土木債	28億8,666万円
教育債	20億9,107万円
公営住宅債	11億5,137万円
農林水産債	4億3,185万円
減税補てん債	2億6,415万円
民生債	2億6,036万円
災害復旧債	1億5,450万円
災害援護資金貸付金	5,130万円
臨時税収補てん債	4,770万円
総務債	4,499万円
衛生費	1,746万円
消防債	461万円
商工債	385万円
公共下水道事業特別会計	77億1,696万円
水道事業会計	29億8,363万円
土地取得特別会計	3億9,120万円

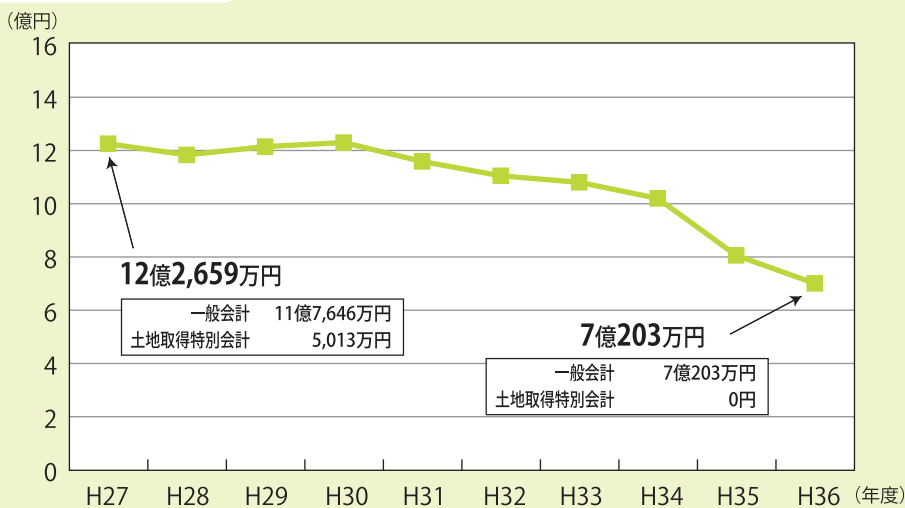
グラフで見る財政

町の借金額 町債の推移（一般会計 + 土地取得特別会計）



平成26年度に借金額が増えているのは、しばた千桜橋建設工事や三名生児童館新築工事、槻木小学校プール改築工事などの大型事業が重なったためです。

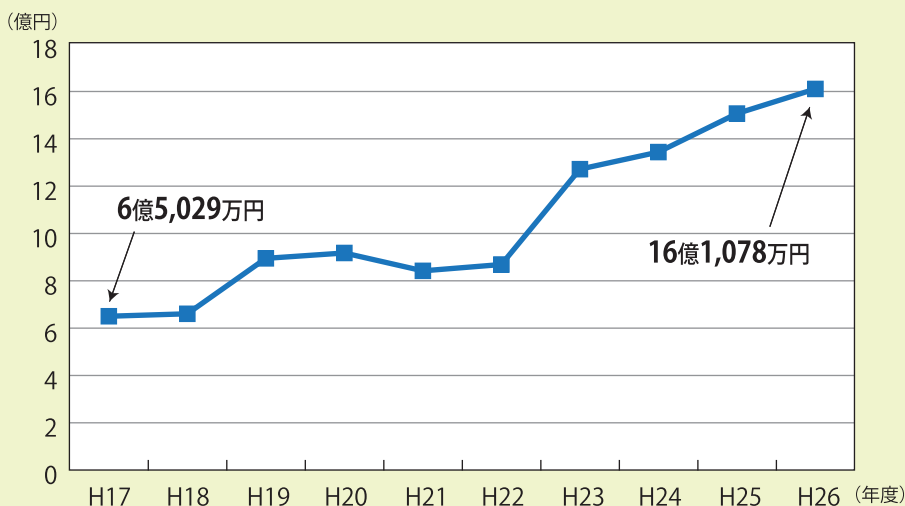
町の返済額 公債費償還額の見込み（一般会計 + 土地取得特別会計）



借金額返済額は毎年同水準で推移する見込みです。

※平成27年度以降に発行する町債は含まれていません。

町の貯金額 基金残高の推移（財政調整基金 + 町債等管理基金）



町の貯金額は、16億1,078万円と過去最高となりました。

将来につなげる米作り

ほ場整備事業の取り組み



「後継者がいない」「高齢になり、続けられない」「経費がかかりすぎる」―これは、全国的な農業を取り巻く厳しい現実です。遊休農地も増加しています。本町においても例外ではありません。

この深刻化した人と農地の問題をなんとか解決しようと、3年前に町は「人・農地プラン」を策定しました。策定中、会議などでは「ほ場整備」を求める多数の声がありました。このため平成25年度から、町、柴田町土地改良区、みやぎ仙南農業協同組合が一体となって、ほ場整備事業に取り組んでいます。町内農業生産組合の連合会組織ごとに事業の説明会を開き、平成26年中に、中名生・下名生、富上・葉坂地区の3つのほ場整備推進協議会が設立されました。

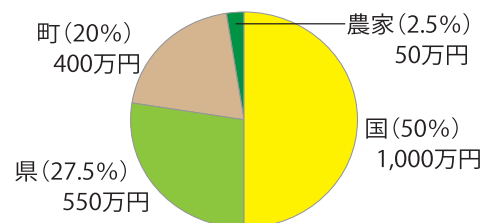
ほ場整備事業とは

「ほ場」とは、田畑をはじめとする農地のことです。ほ場を大区画化し、用排水路などを整備し直すことで、農作物の生産性を高めることが目的です。整備後は、その地域の担い手が少数で農作業を行います。

整備する期間は、地域での推進体制の整備、地権者の同意、どのようなほ場にするのか現況の調査と計画づくり、土地改良法に基づく法手続きなどを経て約12年を費やします。国も推進する事業で、工事は県が実施します。費用は国、県、町、農家が負担します。今後、町が負担する費用は概算で11億円です。

ほ場整備事業は、個人の農地を集約し大区画化するため、地域の地権者同士で共通理解が必要です。現在各協議会では、厳しい農業事情を地域で解決しようと話し合いを進めています。

1haを2,000万円で整備した場合の事業費負担割合



※10アール当たり200万円(実施済の槻木地区ほ場整備の例)とした概算額

ほ場整備事業の効果

- 労働生産性の向上
 - 農地の適正利用
 - 生産コストの削減
 - 担い手の育成
 - 農地利用集積など
- 効果について国が調査した結果、10アールの耕作地における稲作の労働時間は半分に短縮、稲作の生産費は3分の2に低減、担い手の経営規模は約2倍に拡大となっています。

槻木地区ほ場整備事業（実施前）



槻木地区ほ場整備事業（実施後）



柴田町土地改良区理事長
(旧槻木地区ほ場整備推進協議会会長)
大沼 喜昭 さん

槻木地区のほ場整備事業

は、平成10年に国の採択を受け、平成19年に完了しました。採択までは、地権者の話し合いがまとまらず、何度も話しをして了承を得ました。しかしその後、県が、この土地は軟弱なので工事はできないと難色を示したのです。後戻りはできないと、他県から専門家を呼び、工法を検討しました。軟弱だから客土をすればいいというものではなく、別の工法により整備できることがわかりました。

また、用水については、設置費が数千万円かかるポンプ小屋を設置せず、自然勾配を利用したパイプラインを設置することにしました。ポンプ小屋は維持費もかかるので、なるべく農家

の負担を減らすことにしたのです。

当時の事業の目的は、農業の省力化です。兼業農家も増えていたので、当時は作業の効率化が主流だったのです。

でも今は、土地保全型農業を目指すためと言っても良いのではないのでしょうか。国土と環境を保全する意味で、私は「美田化」することを望んでいます。農業は厳しい状況ですが、美しい田んぼが広がればこそ、担い手も現れるというものです。

現在、3つの協議会がほ場整備を進めているのですが、農地利用の集積が進めば土地改良区の業務も効率的になります。ほ場整備事業が仙南各地で進めば、仙南二市七町における土地改良区の統合も考えられるでしょう。3つの協議会では、地権者の理解を深め、ぜひ目的を達成してほしいです。



葉坂ほ場整備推進協議会

- 平成26年12月16日設立
- 協議会員 17人
- 地区面積 49.5ha
- 所有者耕作者数 94人



富上ほ場整備推進協議会

- 平成26年8月1日設立
- 協議会員 30人
- 地区面積 132.5ha
- 所有者耕作者数 330人



葉坂ほ場整備予定区域

富上ほ場整備予定区域

槻木地区ほ場整備区域

中名生・下名生
ほ場整備予定区域



中名生・下名生ほ場整備推進協議会

- 平成26年3月12日設立
- 協議会員 27人
- 地区面積 104.7ha
- 所有者耕作者数 254人





中名生・下名生ほ場整備
推進協議会
会長 水戸勝治さん

中名生と下名生地区の田畑は、昭和初期に区画されたものが多く、大きさがまちまちです。水の管理も大変で、主に土地改良区がしてくれてはいますが、地域には水番という輪番制の役目が残っています。このような状況から抜け出すため、ほ場整備事業を進めます。また私個人の案ですが、新しい農地には野菜などの産直売場があっても良いと思います。ほ場整備で効率化された農業経営に、楽しさを加えたいからです。これから米作りを担う世代が苦勞しないように”との思いもあって、私たちは協力しあって、一日も早く整備が完了するようがんばっています。



富上ほ場整備推進協議会
会長 平間榮雄さん

上川名地区のことを話しますと、十年以上前に区民アンケートを実施し、農業の後継者不足などの問題を解決するため、集落営農に切り替えようと考えていました。農業の未来を考えると、区の総会では本気で議論したものです。このたび、町からほ場整備事業の話がありましたので、区内ではすぐに賛同しました。現在は、富沢、入間田、四日市場、上川名地区の関係者で話し合いを進めています。”地方創生”や”トップパス”といった地域活性化策にもつながるような景観になるよう整備できたら良いと思っています。



葉坂ほ場整備推進協議会
会長 平間盛秋さん

葉坂ほ場整備推進協議会では、地権者全員から、ほ場整備事業を実施する上で事前調査に同意していただきました。100%の同意は、自分たちで米を作り続けていけるのかどうか不安な気持ちの表れだと思えます。米作りのさまざまな課題は、もはや個人レベルで解決できるものではありません。ほ場整備をやらなくてはならない切羽詰った状況です。また整備にあたっては、葉坂には沢が二つあるので、この清らかな沢水を活用した米作りができるよう工夫していきたいです。おいしい”葉坂の米”を作り続けられるよう、会員一丸となって取り組みます。

3つの協議会長からは、会員の不安を取り除くため、行政には積極的な情報提供と事業の早期完了を望む意見がありました。町は、農業をとおした誇りと愛着の持てる郷土づくりのため、各協議会の要望に応えていくべきです。

青々とした田園が広がる初夏、稲穂が揺れる豊穰の秋。私たちは、澄んだ空気を胸いっぱい吸い込みながら、四季の田園風景を望むことができます。しかし、その裏側には、厳しくも将来の米作りに意欲を見せる農家の皆さんがいることを忘れてはいけません。

槻木地区のほ場

みんなでつくろう 花のまち柴田





開催日／**10月31日(土)**
午前9時30分～11時30分(小雨決行)

場所／船岡城址公園

古墳の丘(チューリップ)



H22.11.7  H26.5.4 



古墳の丘の上(ムスカリ)



H23.11.5  H27.4.23



毎年、館山植栽会には町内の企業十数社が参加しています。佐々木舞奈さんと山崎亜也佳さんも町内企業に勤め、入社してから毎年参加しています。お二人は「植栽会で植えたアジサイなどがきれいに咲いたときは感動しました」と話します。植栽会后、自分たちが植えたものが気になり、プライベートでも館山を訪れているようです。今回はチューリップを植えたい、と笑顔を見せてくれました。



山崎亜也佳さん 佐々木舞奈さん

咲かせてください
皆さんの郷土愛を

平成22年の秋から毎年開催している船岡城址公園での植栽会が、今月31日(土)に開催されます。

船岡城址公園を「花のまち」のシンボルとし、一年を通して観光客を誘致するため、さまざまな花木を植樹してきました。アジサイやヒガンバナも増え続け、それぞれがたくさんの観光客を呼び寄せる観光資源となりました。また、レンギョウやツツジ、スイセン、ムスカリ、チューリップなど、その数も計り知れません。山頂にある「コミニティガーデン花の丘柴田」は、テレビやラジオで取り上げられ、わざわざ県外から見学に訪れる方もいます。

一方、花を見所とした観光スポットは全国にたくさんあり、国営公園などの花の数や敷地の広さには驚かされます。桜以外の花の植生規

コミュニティガーデン花の丘柴田



H22.10.5



H27.4.15



展望デッキへ向かう園路(スイセン)



H22.4.26



H27.4.23



昨年、小雨の中参加した皆さん

軍手や移植ベラを持参のうえ、作業しやすい服装でご参加ください。

企業や団体でご参加いただける場合は、事前にまちづくり政策課までご連絡ください。

☎まちづくり政策課 Tel 54-2111

模ではかありません。
 しかし「郷土愛」が、船岡城址公園にはあります。「館山植栽会」というイベント名は「昔から「館山」と言っている所。植栽会の名称にも「館山」と入れたほうが良い」と町民の方々から意見があり決めました。「コミュニティガーデン花の丘柴田」は町民がデザインし木柵を作ったり、植栽したりしています。船岡城址公園が真にアピールしているのは、花の数や種類ではありません。郷土愛による「町民手作り」ということです。

毎年、館山植栽会には、地域活動団体、企業、親子など子どもからお年寄りまで参加しています。球根や花苗を植える簡単な作業ですが、自分が植えた球根などが、春に多くの観光客の前で花を咲かせているのを見ると、とてもうれしく感じるようです。皆さんも「郷土愛」を植えるつもりで、参加してみませんか。



柴田町長 滝口 茂

来年のリオデジャネイロオリンピックに向けて、トップアスリートたちが次々に出場権を獲得しています。若いアスリートが多いだけに、彼らの活躍に期待が膨らみます。

リオのオリンピックの次は、いよいよ2度目の東京オリンピックです。前回大会のときは、私は中学校1年生でした。整然とした日本選手団の入場行進、「東洋の魔女」と呼ばれた女子バレーボールチームの金メダルの獲得。一方で日本のお家芸だった柔道で、オランダのヘーシンク選手に押さえ込まれ身動きできない神永選手のテレビ映像を興奮して見ていたことを思い出します。再び、あの興奮と感動を与えてくれた東京オリンピックを見られることになり、うれしい気持ちはあるのですが、前回ほどの高揚感がないのも事実です。

スポーツ施設の整備について

競技場をはじめ、各競技施設の整備に莫大な費用が掛かることが判明したことです。一部のオリンピック関係者による杜撰な計画決定に問題があったと言わざるを得ません。国の財政が厳しいとして、被災自治体に復興予算の一部負担を求めながら、東京では湯水のようにお金を使つて施設整備が行われようとしていることに憤りを感じます。

「人のふり見て我がふり直せ」ではありませんが、町が進めようとしている総合体育館建設においては、あらゆる角度から検討を加え、慎重に進めていかなければならないと考えています。各競技団体からは「どうせ造るのなら町のシンボルとなるような立派な施設を」との声が寄せられる一方で、「今後人口が減っていく中では、大きな総合体育館はいらない」との声もあります。まさに新国立競技場建設と同じで、相反する意見が出され、どう調整すべきか頭の痛いところですよ。

しかし、「迷ったときは町政の原点に返れ」です。今後、総合体育館の建設については、規模や建設費、運営経費、さらに町民の負担を明らかにし、町民や競技団体、議会と議論を重ねた上で決定していきたいと思えます。



社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）

通知カードと個人番号カード

●マイナンバー制度のお問い合わせ
TEL 0570-20-0178 9:30~17:30
(土・日曜日、祝日、年末年始を除く)

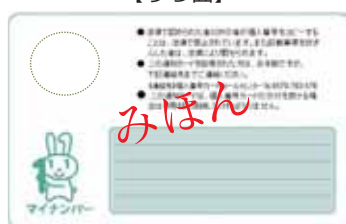
○通知カード

- マイナンバーの通知が始まります
マイナンバーを記載した“通知カード”が10月中旬以降、簡易書留で送付されます。
- 通知カードは大切に保管しましょう
マイナンバー（12桁の個人番号）は、今後、介護・医療保険などの手続きで使用することになります。通知カードは紛失しないよう大切に保管してください。



【おもて面】

【うら面】



通知カードのイメージ

○個人番号カード

- 個人番号カードの申請も始まります
通知カードと一緒に“個人番号カード”の申請書も送付されます。個人番号カードは、身分証明書としても使用できる顔写真入りのマイナンバーを記載したカードで、初回の発行手数料は無料です。申請した方に平成28年1月から順次交付されます。
※住民基本台帳カードとの重複所持はできません

住民基本台帳カードをお持ちの方が個人番号カードの交付を受ける際には、住民基本台帳カードを廃止・回収することになります。住民基本台帳カードの発行は平成27年12月末で終了しますが、有効期間内は使用することができます。



健康情報クリップ

なるほど!

みんなの健康ライフ シリーズ20

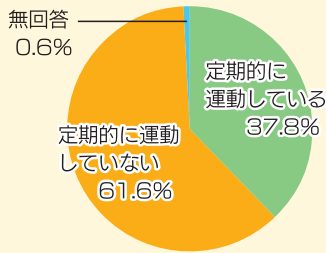
健康推進課 TEL 55-2160 FAX 55-4172

第20回目のテーマは『“体を動かそう!” 運動について』です。

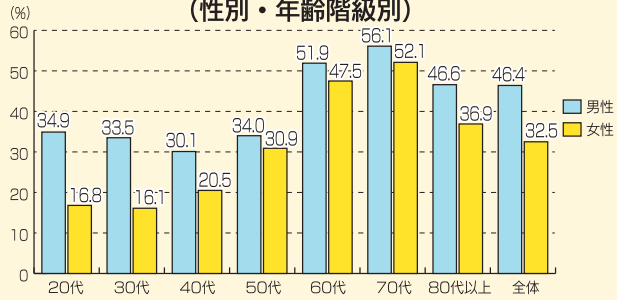
**“運動の秋!”
あと10分、あと1000歩、多く体を動かそう!**

●柴田町の運動の現状 (出典) 町民健康調査 ー平成22年度ー

定期的な運動をしている人の割合



定期的な運動をしている人の割合 (性別・年齢階級別)



町民の約6割が定期的な運動をしておらず、年代別で見ると、20～50歳代の働き盛り世代で定期的に運動している人の割合が少なく、女性は特に少ない状況にあります。

●今より10分多くからだを動かすだけで、健康寿命を伸ばせます! ⇒ **プラス・テン +10** から始めよう!
(アクティブガイドー健康づくりのための身体活動指針ー厚生労働省より)

1 気づく!

体を動かす機会や環境をもう一度振り返ってみましょう。

3 達成する!

18～64歳：1日60分! 元気に体を動かしましょう。
目標は**1日8000歩!!**
65歳以上：じっとしている時間を減らして**1日40分**は動きましょう。

2 始める!

- 歩幅を広くして、早く歩いて **プラス・テン +10**
- ながらストレッチで **プラス・テン +10**
- 歩いたり、自転車で移動して **プラス・テン +10**

4 つながる!

多くの家族や仲間と+10を共有しましょう。一緒に行くと、楽しさや喜びが一層増します。 **一緒に楽しく +10**

保健師からのアドバイス

運動をすると、がん、糖尿病、心臓病、脳卒中などの生活習慣病予防や、メタボ・ロコモ*予防につながります。また、うつや認知症にかかるリスクを下げることができます。

*ロコモ：「ロコモティブシンドローム（運動器症候群）」の略称。年齢と共に骨・筋肉・関節などの運動器が衰え、将来的に寝たきりや介護が必要になる状態のこと。

広 告

広 告

まちかど NEWS



左から佐藤駿磨さん(3年生)、後藤大輝さん(3年生)、平間明佳さん(2年生)

校舎塗り替えで気持ちも新たに

夏休みの間に、船迫中学校の校舎内壁や掲示板、黒板が塗り替えられ、生徒たちは、きれいな校舎で2学期を迎えることができました。

9月4日(金)、3人の生徒と校長、PTA会長が役場を訪れ、生徒会長の佐藤駿磨さんは、「校舎の中がきれいになって、一層勉強に励むことができます。ありがとうございます」と笑みを浮かべ、町長にお礼を述べました。



明るくなった校舎で、生徒たちの会話が弾みます。

県南首長が、知事と意見交換

8月24日(月)、柴田町太陽の村で20回目となる「宮城県県南サミット」が開催されました。県南4市9町の首長がしばた千桜橋を視察した後、太陽の村へ移動し「復興支援と地域活性」についての講演を聞き、村井嘉浩知事との意見交換に臨みました。県南各首長は、知事に対し県南における東日本大震災からの復興対策や地域振興支援、地方創生などについて、意見や要望を述べていました。



質問に答える村井嘉浩知事



「はらから」手作りのパンなどが販売されました

地域の皆さんに感謝を込めて

8月23日(日)、はらから地域生活支援センターで13回目となる「はらから祭りにin柴田」が開催され、朝早くから多くの方が来場しました。

当日は、東船岡小学校の児童によるあぶくま太鼓や吹奏楽演奏などのステージイベントで盛り上がりました。親子で訪れていた宮下幸智さん(船岡地区)は、「地域の方とふれあうことができるいいお祭りですね」と話してくれました。

広 告

広 告

NEWS 初開催「わくわく体験デイキャンプ」

8月21日(金)、農村環境改善センターで、「わくわく体験デイキャンプ」が初めて開催されました。柴田町総合型地域スポーツクラブが、ジュニアリーダーの育成と小学校低学年児童にグループ活動やスポーツの楽しさを体験してもらうために企画、開催したものです。ジュニアリーダーの指導のもと、参加した小学生30人は、カレーを作って食べたり、スポーツをしたりして一日を楽しく過ごしました。



「子どもたちから教わることも多い」とジュニアリーダー加納千歩里さん(船岡中3年)

NEWS 高齢者の相談窓口 船岡駅前にも開所

9月1日(火)、JR船岡駅前に町内で3カ所目となる柴田町地域包括支援センターが開所しました。この施設は今後、高齢者の元気づくりの拠点としての役割を担うこととなります。駅前にあるため、高齢者が気軽に立ち寄り、集いの場としても期待されます。近くに住む佐々木幸子さん(船岡地区)は「近く相談窓口ができ、大変心強くなりました」と開所を喜んでいました。



開所を祝うテープカット



入居者の方から贈られた記念品に喜ぶ及川さん

NEWS いつも手紙で感謝を伝え 100歳 及川三郎さん

8月24日(月)、及川三郎さん(船岡地区)が大河原町の多機能ハウスくすのきで100歳の誕生日を迎えられました。及川さんは、最近まで、お世話になった方々に手紙を書いていました。及川さんが出す手紙には、いつも感謝の言葉が綴られていたそうです。及川さんの健康の秘訣は、出してもらった食事を残さず食べること。この日もお祝いのパースデイクーキをおいしそうに召上がっていました。



初期消火や人命救助に協力された皆さん

NEWS 人命救助に貢献

8月5日(水)に起きた交通事故の現場で、救助活動に協力した毛利産婦人科医院と大場武芳さん(下名生地区)、大槻一弥さん(船岡地区)に、9月8日(火)、武田柴田消防署長から感謝状が贈られました。署長は「率先して救助活動に協力いただき、ありがとうございます」と感謝の言葉を述べました。感謝状を受け取った皆さんは、「自分に何かできることはないかと思い、現場に駆けつけた」と話されました。

広告

広告

俳句

湯上りのうなじをなてる秋の風

西船迫 後藤 文子

青空に翼広げる鷺草かな

西船迫 玉手みき子

穂波打つ黄金色は秋の味

船岡 安藤 節子

残暑まつ虫たちの声悲しくも

西船迫 安ヶ平奈津枝

懸崖にひそとひらきし鹿の子百合

下名生 笠松ふみ子

甲子園九回裏に涙あり

船岡 可沼 妙子

焼きあげし音ごと盛りし初さんま

中野西範子

夕暮れの肩にふれ行く秋の風

石垣テル子

秋桜のつぼみに重き今朝の雨

制野 千秋

がちやがちや夫婦喧嘩を煽りたる

遊佐 徹

実割れせるトマト集めて畑じまい

山家美智子

長雨や吐息の色に唐辛子

三塚 直樹

豊作やずしりと重きふるさと便

及川美沙子

削られし山肌白し月のぼる

藤原 恪子

鷺草の雨後の日差しにはばたけり

若月ノリ子

忘れたきは忘れがたきや青林檎

大久保和子

生身魂箸うつくしく使いけり

佐藤きみこ

曼珠沙華浸る稲穂を赤く染め

船岡 千 舞

野菜採る食べきれずにおすそわけ

西船迫 安ヶ平良三

毛糸達順番待ちでヨドの中

船岡 阿部美代子

心地よし涼しくなりし朝のうたた寝

西船迫 渡辺 晴江

柴田町豊かにみゆる田畑かな

榎木 加藤 利通

お盆すぎ吹く風涼し秋来たる

榎木 つきのき町子

川柳

夜明け前まどろみの中蝉の声

西船迫 後藤 文子

がし〜とどうもろこしや齒が五本

葦神 葛

初サンマ食いたいけれどまだ高値

北船岡 佐々木正吉

猛暑あり長雨あつて四季感じ

船岡 小林 夢子

待っていたそれとは違ふこの豪雨

西船迫 三澤 精一

幼な児の笑顔にまさる宝なし

西船迫 下浦 智子

何げなく鷺草にそつと触れたなら心地良くばつと飛び立つごとし

船岡 沢田 順子

踏まれても尚咲き残る車前草小さき花の命の強さよ

船岡 可沼 妙子

折り〜に少女をみせていとおかしそれも愛しや知らぬふりして

船岡 大槻 信吉

張り詰めて孫の演奏聞いた爺周り見えずに拍手いちばん

本船迫 森田 真六

広告

広告

広告

広告



夢空間 2015



はなちゃん
(ペンネーム)



切り絵「ひがん花」
佐藤光雄さん (西船迫四丁目)

smile kids

お子さん(4歳まで)の写真をお待ちしています。写真の裏にお子さんの名前を必ず書いてください。投稿者の住所、氏名、電話番号、お子さんの名前・生年月日を明記し、「ひとこと」を添えて応募してください。

ふれあいマイタウンは、町民の皆さんからの応募・紹介でつくるコーナーです。俳句・川柳・短歌に興味がある(ことうほう文芸)、自己表現コーナー(夢空間2015)、お子さんの成長の写真やかわいい孫の写真を載せたいという方は、はがきなどで10月13日(火)までご応募ください。

※応募する場合は投稿者の住所、氏名、電話番号、ペンネーム(希望者のみ)を明記してください。

■連絡先/まちづくり政策課 ☎54-2111

こども美術館



「4年生のぼく」(絵)

柴田小学校4年

あさの はるみち
浅野 春倫 さん



「雪の中のオラフ」(絵)

柴田小学校3年

むらかみ ゆな
村上 柚奈 さん

広 告

広 告

『公私共に社会貢献』

町内で働く若い世代の方の思いや夢などを紹介するコーナーです。



日本青年会議所の選挙教育活動で全国を駆け回る松浦さん。

株式会社 松浦組
取締役副社長

松浦 洋平さん(38歳)
まつうら ようへい

町内外で土木・建築工事を手掛けている株式会社松浦組を訪問すると、公共施設をはじめとする建物の完成写真が多数飾られています。この松浦組の副社長として経営の一翼を担う松浦洋平さんを紹介しましょう。

松浦さんは、総務や営業のほか、渉外業務で人と接する機会が多いそうです。「入社したてで営業をしていた頃、土木や建築の専門用語がわからず失敗したことがあります。その経験があつて、今は発注者への説明がきちんとできるような心がけています。完成したときの達成感に満足することなく、建物や道路がいつまでも安全に利用いただけることが私たちの責務と考えています。さらに、自然災害が発生したときなど、会社の持つノウハウを生かして地域に貢献していくのも使命だと思っています」と松浦さんは力強く言います。

渉外業務で多忙の中、松浦さんはプライベートでも一般社団法人さくら青年会議所に加入、現在は公益社団法人日本青年会議所に出席し、日本の未来を考えながら全国を駆け回っているそうです。「活動を通して全国の異業種の方々と知り合いになれたのも財産」と人との出会いも大切にしています。

松浦さんは、会社経営を第一にしつつ、高い志を持って社会貢献活動を実践しています。

株式会社 松浦組

柴田町船岡中央 3 丁目 1-5 TEL 54-2032

戦時中、海軍火薬廠（現船岡駐屯地）の工事を請け負っていた(株)戸田組（現：戸田建設(株)）の木工事名義人だった先代の松浦氏が昭和21年に創業。土木・建設工事を手掛けるほか、各種ボランティア活動にも社員一丸となって取り組んでいる。従業員数32人。



人口と世帯数
(平成27年9月1日現在)



38,367人
(前月比2人減)



19,089人
(前月比3人減)



19,278人
(前月比1人増)



15,317世帯
(前月比13世帯増)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。